

学校名 大和村立大和小学校

項 目	活動内容等
1 活動内容等	<p>「奄美大島，徳之島，沖縄北部及び西之表島」が世界自然遺産に登録され，現在ますます奄美大島の自然保護について関心が高まってきている。</p> <p>そこで，環境教育と郷土教育を柱に，SDGs と関連させながら，環境保全の大切さを理解させるとともに実践的態度の育成に努めている。</p> <p>本校では，10 年前から毎年，遠足の機会を利用し，国立公園宮古崎に隣接する国直海岸で全校児童による海岸清掃美化活動を行い，散乱防止活動に取り組んでいる。また，中・高学年においては，総合的な学習の時間に，校区内海岸や学校周辺の清掃活動を継続的に行っている。また，朝のボランティア清掃活動を実施するなど，校内の美化に努め，校内外をきれいにし，ふるさとを大切する心を育てている。</p>
2 活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月 ② 活動の愛称名があれば記入して下さい ③ 月間又は年間活動回数	<p>【活動の動機】</p> <p>○ 奄美の豊かな自然を守り，世界の宝の島として未来へつなぐとともに，郷土愛の醸成と環境教育や郷土教育の充実を図っている。また，身近な環境から地球規模の環境問題や SDGs にも関心を持ち，環境保全に努める児童の育成をねらいとしている。</p> <p>【活動の頻度】</p> <p>○ 各活動 学期年1回，及び通年</p> <p>【開始年月】</p> <p>○ 平成26年6月から毎年実施</p> <p>○ 活動の名称「海岸清掃クリーン作戦」：遠足 ○ 活動の名称「大和っ子ぴかぴか大作戦」：総合 ○ 大和村研究テーマ「大和の名を誇りに思う教育」</p> <p>○ 国直海岸清掃活動：年1回実施 ○ 海岸清掃活動：年2回実施（高学年） ○ 集落清掃活動：年1回実施（中学年） ○ 朝のボランティア清掃活動：通年 ○ 各集落の清掃活動：年2回（地域行事：各集落）</p>

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鹿児島県大和村 国直海岸 ○ 鹿児島県大和村 大和浜海岸 ○ 鹿児島県大和村 大和浜・思勝集落 ○ 鹿児島県大和村立大和小学校周辺
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国直海岸清掃 : 32人 (児童22人, 職員10人) ○ 高学年海岸清掃 : 9人 (児童7人, 職員2人) ○ 中学年集落清掃 : 12人 (児童10人, 職員2人) ○ 学校周辺清掃活動 : 32人 (児童22人, 職員10人)
⑥ 活動1回当たりの平均時間	45分間
⑦ 収集ごみの処分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海岸の漂流ごみは、学校に持ち帰り、種類別・国別等に分類・集計している。活動後は、分別してごみ収集場所へ出し、処分している。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海岸清掃活動については、総合的な学習の時間と関連付けながら、海岸の漂着ごみがどこの国から流れ着いた物なのか、どのようなごみが多いのかを児童が調べ、まとめている。この活動を通して、環境問題や自然保護、SDGsについて考えとともに、自分たちにできることは何かについても考え、実践化へつなげている。
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国直海岸は観光地であるため、島内外から観光客が集まる場所となっている。そのために、来場者へ気持ちよく利用してもらえるように観光シーズン前に清掃活動を実施している。清掃活動により環境保全・環境美化の意識が高まってきている。
② 地域住民との協力活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集落に住む児童は、本活動外でも学校で学んだことを生かしながら地域の方々と協力して、集落の海岸清掃活動や海岸周辺の道路清掃活動等の子ども会活動に参加しているため、地域住民からの信頼を得ている。
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界自然遺産の島奄美大島の環境に関心を持ち、児童自らの手でふるさとの自然をきれいにしようとする本活動は、集落の方々からもとても喜ばれている。また、集落の清掃活動においては、地域の方々との交流の輪やふれ合いが広がるとともに、学校での学びにより実践意欲が芽生えことで、地域からの貢献度も高い評価を得ている。

項 目	活動内容等
<p>(4) 環境教育との関連</p> <p>① 環境教育と活動との結びつき</p> <p>② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化</p> <p>③ 当該活動以外の環境教育実践活動</p>	<p>○ 環境教育の年間指導計画に「集落美化活動」「奄美の自然にかかわる活動」が位置付けられている。さらに、本活動が奄美の自然を考える動機付けにし、関連を図りながら取り組んでいる。</p> <p>○ 漂着ごみなど環境問題について調べたことを基に、海岸清掃活動を行い、多くの漂着ごみの散乱に気付くことができた。活動を通して、自然環境保護や環境問題への関心が高まるとともに奄美の自然を守りたいという実践意欲が更に芽生えてきた。</p> <p>○ さとうきび栽培・収穫体験活動、黒糖作り体験</p> <p>○ 稚魚放流活動：国直海岸</p> <p>○ 田植え体験活動：大棚小との合同学習</p> <p>○ 外来種（セイタカアワダチソウ）駆除活動（講師：奄美野生生物保護センター職員）</p> <p>○ 出前授業「野外生物の観察会」 「アマミノクロウサギについて」（講師：奄美野生生物保護センター職員）</p> <p>○ 奄美の水を守り隊：大和川の調査</p> <p>○ 奄美野生生物保護センターに行こう：施設見学</p> <p>○ スモモ（大和生産日本）やさつまいもの収穫体験活動</p> <p>○ 集合学習「貝殻やシーグラスでフォトフレーム作り」</p> <p>○ 出前授業「夏休み工作教室（貝殻を使ったお守り作り）」（講師：奄美少年自然の家）</p> <p>○ 卒業記念植樹：桜の木の植樹</p> <p>○ 花いっぱい運動：一人一プランター栽培</p> <p>○ 子ども会による各集落の花壇の栽培・美化活動</p> <p>○ グリーンカーテンの設置（ゴーヤ、パッションフルーツ）</p> <p>○ インクカートリッジ回収</p> <p>○ ごみの分別と裏紙の再利用</p>
<p>(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか</p>	<p>○ 特になし</p>
<p>(6) 校内外活動のための時間の作り方</p>	<p>○ 海岸清掃や外来種（セイタカアワダチソウ）の駆除活動、野生の生き物観察会は、遠足（学校行事）の活動の一環として位置付けている。</p> <p>○ 中学年・高学年の取組は、総合的な学習の時間を教育課程に位置付けている。</p> <p>○ 学校周辺の清掃活動は、始業前にボランティア活動の一環として取り組んでいる。</p>
<p>3 その他特記事項</p>	<p>○ 全校朝会でプラ島太郎の動画を視聴し、海洋プラスチックごみについて考える場を設定した。</p> <p>○ 校区内の奄美野生生物保護センターや奄美海洋生物研究会等の関係機関と連携を密にしながら、今後も引き続き環境美化活動に取り組んでいく。</p>

大和村立大和小学校 散乱防止活動の様子

【全校児童：海岸清掃活動（勤労生産奉仕活動）】



【中学年：学校周辺の清掃活動（総合的な学習の時間）】



【高学年：海岸清掃（総合的な学習の時間）】

